

委員会提出フォーマット

委員会名	国際委員会	
主管部署	国際部	
所管事項	(1) FIFA、AFC及びEAFFその他外国団体との交渉 (2) アジア協力に関する事項 (3) 上記以外の国際関係	
2年間で取り組む事項		
1. FIFA、AFC、EAFF、その他国際機関に関わる事項や取り組みを決定していく。 2. 国際関連業務や国際貢献業務の推進に必要な国際情勢の情報収集、人脈構築などに関して国際委員及びその所属組織からご支援頂く。 3. 世界トップ10の組織を目指し、国際貢献を果たしていく。		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	田嶋 幸三	会長
副委員長	松崎 康弘	常務理事
副委員長	北澤 豪	理事/フットサル委員長
委員	小川 佳実	理事/審判委員長
委員	鈴木 寛	理事/文部科学大臣 補佐官
委員	影山 雅永	ユースダイレクター/ナショナルトレセンコーチ【関東】
委員	原 博実	常務理事/Jリーグ 副理事長
委員	中西 大介	Jリーグ 常務理事
委員	木下 由美子	Jリーグ 理事
委員	内山 選良	(一財)日本国際協力センター
委員	大井 義洋	(株)電通 スポーツ局 サッカー事業室 アジア部長
委員	滝崎 成樹	伊勢志摩サミット広島外相会合準備事務局 事務局長
委員	戸塚 隆	(株)講談社
委員	戸川 正人	(独)国際協力機構
委員	濱口 博行	東アジアサッカー連盟 CFO
委員	永島 昭浩	スポーツキャスター
委員	下山 雅也	国際交流基金アジアセンター
委員	奥村 幹夫	SOMPO ホールディングス
委員	東明 有美	元日本女子代表
委員(在海外)	梅田 邦夫	在ブラジル大使館 特命全権大使
委員(在海外)	北山 朝徳	TOSHIN SA(アルゼンチン) 代表取締役社長
委員(在海外)	坂路 純子	NOVA JIKA, S.A.(スペイン) 代表取締役
委員(在海外)	渋谷 英秋	有識者(イギリス)
委員(在海外)	中島 勇一郎	クリムゾンフィーニクス(株)(イギリス) 代表取締役 マネージングパートナー
委員(在海外)	古川 秀雄	Emi TRAVEL Paris(フランス) 代表取締役社長
委員(在海外)	美濃村 洋一	有識者(ドイツ)
委員(在海外)	森村 國仁	電通スポーツアジア(シンガポール) 社長兼 CEO
委員(在海外)	後藤田 健	電通メディアベトナム 取締役社長

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	各種大会に関する事項と試合の監理 FIFA、AFC 及び EAFF の各種大会並びに Jリーグ等の国内大会の日程調整に関する事項	
委員会の必要性	各実施委員会 委員長及び競技会委員会 各部長により構成され、各競技会の方針、方向性を確認するとする。実質、各競技会に関する決定事項は各部長により決定し、競技会委員長より理事会に付議する。	
2 年間で取り組む事項		
(1) 2017～2020 までの国内競技会のカレンダー調整		
(2) 地域・都道府県リーグ整備		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	林 義規	理事
委員	北澤 豪	理事/フットサル委員長
委員	植田 昌利	常務理事/国体実施委員長/第 1 種大会部会長
委員	松崎 康弘	常務理事/天皇杯実施委員長
<u>委員</u>	<u>小川 佳実</u>	<u>理事/審判委員長</u>
委員	今井 純子	理事/女子委員長
<u>委員</u>	<u>西野 朗</u>	<u>理事/技術委員長</u>
委員	原 博実	常務理事/Jリーグ
委員	上保 毅彦	(一社)日本フットボールリーグ 運営部長
委員	向井 淳也	(一社)日本女子サッカーリーグ 事務局長
<u>委員</u>	<u>大立目 佳久</u>	<u>(一財)日本フットサル連盟 専務理事</u>
委員	竹山 勝白	理事(東海)/第 3 種大会部会長
委員	高山 清	(公財)東京都サッカー協会 常務理事/第 4 種大会部会長
委員	綾部 美知枝	女子大会部会長
委員	藤縄 信夫	理事(関西)/シニア大会部会長
委員	窪田 慎二	Jリーグフットボール本部長

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会 第1種大会部会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	第1種(年代)に関する大会及び試合の監理	
2年間で取り組む事項		
1種全般		
<ul style="list-style-type: none"> ① 社会人連盟へのサポート体制の強化 ② 地域リーグ決勝大会の大会形式の見直し検討 ③ 将来Jリーグを目指すクラブの扱いの明確化 ④ 全国クラブチーム選手権大会の改革 ⑤ 1種登録者減少対策としての普及大会の検討 		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	植田 昌利	常務理事
部会員	加藤 桂三	(一社)日本フットボールリーグ 専務理事
部会員	片岡 道夫	(一財)全国社会人サッカー連盟
部会員	中野 雄二	(一財)全日本大学サッカー連盟副理事長
部会員	窪田 慎二	Jリーグフットボール本部長

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会 第2種大会部会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	第2種(年代)に関する大会及び試合の監理	
委員会の必要性	<p>具体的に次の事柄について、有識者や関係者を中心とした委員会メンバーで様々な観点から検討し、方針、方向性を決定すると共に事務局と共に施行していくため。</p> <p>(1) サッカーの普及、発展。</p> <p>(2) サッカーへの寄与(JFA登録メンバー増、技術、審判技術への貢献を含む)</p>	
2年間で取り組む事項		
<p>1)プレミアリーグ</p> <p>①育成年代最高峰の大会であるためのステータス向上</p> <p>②チャンピオンシップの大会形式の検討(東西上位2チーム出場の検討)</p> <p>③チャンピオンシップの来場者の増加促進(目標2万人)</p> <p>2)U-18FAリーグ</p> <p>①都道府県におけるリーグへの参加率の把握とそれに関する問題の分析、対策の検討</p> <p>②補欠選手ゼロに向けた施策の検討・実施</p> <p>3)高校選手権</p> <p>①毎年蓄積されている大会収益の還元方法の検討</p> <p>※以下、種別を問わず、競技会全般で取り組む事項</p> <p>1)諸規程・ガイドラインの更新・適正化／表記統一</p> <p>①JFA規約規程第6章「競技」の更新・適正化</p> <p>②表彰規程の更新・適正化(表彰の内容・方法、表彰式の方法の統一化)</p> <p>③名義申請の更新・適正化</p> <p>④施設関連のガイドラインの見直し</p> <p>2)大会に参加するチーム・選手の経費負担の見直し</p> <p>①都道府県全体の現状把握</p> <p>②補助方法・制度の見直しや協賛金還元による参加チーム・選手の経費負担の見直し</p> <p>3)サッカーとフットサルの大会の両立、すみ分け</p> <p>①方針・考え方の整理・検討</p> <p>②大会日程の調整と大会カレンダーの整理</p> <p>4)最適なスケジュールの整備</p> <p>①サッカーカレンダーの整備</p> <p>②各カテゴリー/種別の大会期間の被りの調整</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	林 義規	理事
部会員	山口 隆文	指導者養成ダイレクター
部会員	影山 雅永	技術委員会指導者養成部会副部会長
部会員	滝本 寛	(公財)全国高等学校体育連盟 サッカー専門部長

部会員	<u>小松 義典</u>	<u>(一財)日本クラブユースサッカー連盟</u>
部会員	<u>星原 隆昭</u>	<u>(一般)日本クラブユースサッカー連盟</u>
部会員	荒 忍	北海道地域選出
部会員	菅沼 孝一	東北地域選出
部会員	藤原 明夫	関東地域選出
部会員	河合 昭博	北信越地域選出
部会員	大川 晃広	東海地域選出
部会員	田内 成人	関西地域選出
部会員	沖本 周洋	中国地域選出
部会員	梶原 伸治	四国地域選出
部会員	吉浦 茂和	九州地域選出
部会員	<u>上間 政彦</u>	<u>有識者/高校教諭</u>
部会員	栗田 和彦	(公財)全国高等学校体育連盟 サッカー専門部
部会員	重野 弘三郎	Jリーグ 強化・育成部リーダー

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会 第3種大会部会
主管部署	競技運営部
所管事項	第3種(年代)に関する大会及び試合の監理
委員会の必要性	具体的に次の事柄について、有識者や関係者を中心とした委員会メンバーで様々な観点から検討し、方針、方向性を決定すると共に事務局と共に施行していくため。 (1) サッカーの普及、発展。 (2) サッカーへの寄与(JFA登録メンバー増、技術、審判技術への貢献を含む)

2年間で取り組む事項

1)高円宮杯

- ①中学生年代最高峰の大会としての大会形式・構造の再検討(目的を再確認した上での継続を含む)
- ②安定的に開催していくための時期の再考と固定化(天皇杯開催時期の移行とも関連して)

2)U-15リーグ

- ①地域リーグのカレンダー整理(リーグ期間および節ごとの日程の統一化)
- ②都道府県におけるリーグへの参加率の把握とそれに関する問題の分析、対策の検討
- ③中学校サッカー部が参加しやすくなる制度の導入
- ④補欠選手ゼロに向けた施策の検討・実施

※以下、種別を問わず、競技会全般で取り組む事項

1)諸規程・ガイドラインの更新・適正化／表記統一

- ①JFA規約規程第6章「競技」の更新・適正化
- ②表彰規程の更新・適正化(表彰の内容・方法、表彰式の方法の統一化)
- ③名義申請の更新・適正化
- ④施設関連のガイドラインの見直し

2)大会に参加するチーム・選手の経費負担の見直し

- ①都道府県全体の現状把握
- ②補助方法・制度の見直しや協賛金還元による参加チーム・選手の経費負担の見直し

3)サッカーとフットサルの大会の両立、すみ分け

- ①方針・考え方の整理・検討
- ②大会日程の調整と大会カレンダーの整理

4)最適なスケジュールの整備

- ①サッカーカレンダーの整備
- ②各カテゴリー/種別の大会期間の被りの調整

委員会メンバー

役職	氏名	備考
部会長	竹山 勝自	理事(東海)
部会員	山口 隆文	指導者養成ダイレクター
部会員	池内 豊	ユース育成サブダイレクター
部会員	福島 隆志	(公財)日本中学校体育連盟 サッカー部長
部会員	加藤 孝俊	(一財)日本クラブユースサッカー連盟
部会員	小池 直文	(一財)日本クラブユースサッカー連盟

部会員	鎌足 光正	北海道地域選出
部会員	市橋 保司	東北地域選出
部会員	中野 泰延	関東地域選出
部会員	殿村 哲夫	北信越地域選出
部会員	清水 栄嗣	東海地域選出
部会員	風巻 和生	関西地域選出
部会員	笠井 謙次	中国地域選出
部会員	高岡 隆志	四国地域選出
部会員	久野 慎吾	九州地域選出
部会員	重野 弘三郎	Jリーグ 強化・育成部リーダー
<u>部会員</u>	<u>齊藤 俊秀</u>	<u>有識者/(一財)静岡県サッカー協会 理事</u>
<u>部会員</u>	<u>鮑田 敏</u>	<u>有識者/(一社)長野県サッカー協会 常務理事</u>

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会 第4種大会部会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	第4種(年代)に関する大会及び試合の監理	
委員会の必要性	<p>具体的に次の事柄について、有識者や関係者を中心とした委員会メンバーで様々な観点から検討し、方針、方向性を決定すると共に事務局と共に施行していくため。</p> <p>(1) サッカーの普及、発展。</p> <p>(2) サッカーへの寄与(JFA 登録メンバー増、技術、審判技術への貢献を含む)</p>	
2年間で取り組む事項		
<p>1)全日本少年大会</p> <p>①冬季・鹿児島開催(3年間)の成功・安定開催</p> <p>②次年度の大会の開催地の選定</p> <p>③協賛社確保のための新たなメリットの創出</p> <p>④女子選手の大会参加に配慮した環境整備</p> <p>2)キヤノン ガールズ・エイト</p> <p>①第4種大会としての実施に関する狙いと方向性の確認・共有</p> <p>3)U-12FA リーグ</p> <p>①都道府県におけるリーグへの参加率の把握とそれに関する問題の分析、対策の検討</p> <p>②現状に即した柔軟な対応(規程・運用ルール等の改定)</p> <p>③補欠選手ゼロに向けた施策の検討・実施</p> <p>※以下、種別を問わず、競技会全般で取り組む事項</p> <p>1)諸規程・ガイドラインの更新・適正化／表記統一</p> <p>①JFA 規約規程第6章「競技」の更新・適正化</p> <p>②表彰規程の更新・適正化(表彰の内容・方法、表彰式の方法の統一化)</p> <p>③名義申請の更新・適正化</p> <p>④施設関連のガイドラインの見直し</p> <p>2)大会に参加するチーム・選手の経費負担の見直し</p> <p>①都道府県全体の現状把握</p> <p>②補助方法・制度の見直しや協賛金還元による参加チーム・選手の経費負担の見直し</p> <p>3)サッカーとフットサルの大会の両立、すみ分け</p> <p>①方針・考え方の整理・検討</p> <p>②大会日程の調整と大会カレンダーの整理</p> <p>4)最適なスケジュールの整備</p> <p>①サッカーカレンダーの整備</p> <p>②各カテゴリー/種別の大会期間の被りの調整</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	高山 清	(公財)東京都サッカー協会 常務理事
部会員	淀川 知治	NTC[女子]U-12 担当/関東
部会員	山口 隆文	指導者養成ダイレクター

部会員	猿澤 真治	JFA 地域ユースダイレクター(四国チーフ)
部会員	高橋 武良	審判委員会 レフェリー・デベロップメント部会員
部会員	神谷 敦	北海道地域選出
部会員	東海林 明雄	東北地域選出
部会員	石原 幸周	関東地域選出
部会員	永井 宏	北信越地域選出
部会員	飯塚 孝夫	東海地域選出
部会員	仲 義之	関西地域選出
部会員	水上 哲彦	中国地域選出
部会員	長尾 文博	四国地域選出
部会員	加來 雅雄	九州地域選出
部会員	橋上 伸介	有識者 / (一社)神奈川県サッカー協会 理事
部会員	重野 弘三郎	Jリーグ 強化・育成部リーダー

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会 シニア大会部会	
所管部署	競技運営部	
所管事項	シニア種(年代)に関する大会及び試合の監理	
2年間で取り組む事項		
<p>1) 年齢区分別大会の整備</p> <p>① 5歳間隔の競技会開催及び都道府県での予選会実施の可能性の検討</p> <p>② 40歳以上の全競技会のシニア登録への移行についての検討・決定</p> <p>③ 都道府県協会におけるシニア競技会を管轄する組織の明確化</p> <p>④ 第1種登録者との共生、日本マスターズ(35歳以上)予選大会の協力検討</p> <p>2) フェスティバル(男女)および各種連盟との連携</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	藤縄 信夫	理事(関西)
部会員	松本 敏嗣	理事(北海道)
部会員	小田中 清高	北海道地域選出
部会員	吉田 茂	東北地域選出
部会員	井上 龍彦	関東地域選出
部会員	松島 義一	北信越地域選出
部会員	鈴木 康夫	東海地域選出
部会員	松永 正利	関西地域選出
部会員	灰垣 義春	中国地域選出
部会員	大隅 壮行	四国地域選出
部会員	石川 信二	九州地域選出
部会員	熊谷 明夫	有識者
部会員	西川 忠志	有識者
部会員	小倉 功	有識者

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会 女子大会部会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	女子サッカーに関する大会及び試合の監理	
委員会の必要性	<p>具体的に次の事柄について、有識者や関係者を中心とした委員会メンバーで様々な観点から検討し、方針、方向性を決定すると共に事務局と共に施行していくため。</p> <p>(1) 女子サッカーの普及、発展。</p> <p>(2) サッカーへの寄与(JFA 登録メンバー増、技術、審判技術への貢献を含む)</p>	
2年間で取り組む事項		
<p>1)皇后杯</p> <p>①決勝の観客数の増加促進(目標1万人)</p> <p>②女子最高峰大会としての決勝戦の演出</p> <p>③なでしこリーグが出場する回戦からの有料化の検討</p> <p>2)全日本女子ユースU18</p> <p>①チームにレベル差がある現状を踏まえた大会方法の再検討</p> <p>3)高校女子</p> <p>①神戸でのスムーズな大会開催</p> <p>②決勝戦及び使用会場の固定化</p> <p>③都道府県代表が出場することの検討・基盤作り</p> <p>4)女子ユースチャンピオンシップ</p> <p>①U18年代のチャンピオンシップ創設の検討</p> <p>5)全日本女子ユースU-15</p> <p>①地域予選の参加チーム数拡大の具体案検討</p> <p>②中学校チームの増加策へのアシスト</p> <p>6)レディース</p> <p>①大会の位置付けの明確化・出場者ニーズにあわせた適正化</p> <p>②O-30のアンダーエイジ参加の可否の検討</p> <p>③O-40のチームが楽しめる環境の検討</p> <p>④O-50の選手が楽しめる環境の検討</p> <p>7)連盟大会</p> <p>①連盟を主体とした運営体制の確立</p> <p>②クラブユース連盟主催大会の支援</p> <p>8)リーグ整備</p> <p>①年間リーグを可能とする大会カレンダーの整理 (リーグ日程(シーズン)の確保/リーグの節をあわせる調整)</p> <p>②地域・都道府県リーグ整備のための補助金制度の検討</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	綾部美知枝	有識者/参与
部会員	向井 淳也	(一社)日本女子サッカーリーグ 事務局長
部会員	大野 真	NTC[女子]チーフ/女子委員会

部会員	川本 竜史	(一財)全日本大学女子サッカー連盟 理事長
部会員	床爪 克至	(公財)全国高等学校体育連盟サッカー専門部女子
部会員	鷺津 裕美	北海道地域選出
部会員	大沼 敏美	東北地域選出
部会員	神庭 力	関東地域選出
部会員	坂巻 富子	北信越地域選出
部会員	井上 有希江	東海地域選出
部会員	山本 浩靖	関西地域選出
部会員	猫島 栄治	中国地域選出
部会員	猿澤 明子	四国地域選出
部会員	松下 太	九州地域選出

委員会提出フォーマット

委員会名	競技会委員会 マッチコミッショナー部会	
所管事項	JFA マッチコミッショナー制度に関する事項と認定の監理	
委員会の必要性	各実施委員会 委員長及び競技会委員会 各部長により構成され、各競技会の方針、方向性を確認するとする。実質、各競技会に関する決定事項は各部長により決定し、競技会委員長より理事会に付議する。	
2年間で取り組む事項		
(1) 上位区分への昇格等、制度に関する詳細を定める (2) JFA 直轄大会における派遣対象大会（試合）の拡大 (3) 登録管理への移行		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	調整中	
部会員	新藤 一晴	Jリーグマッチコミッショナー委員会 委員
部会員	谷 邦男	(一財) 全国社会人サッカー連盟 監事/Jリーグ MC
部会員	小林 徹也	(公財) 北海道サッカー協会 常務理事
部会員	加藤 桂三	(一社) 日本フットボールリーグ 専務理事
部会員	向井 淳也	(一社) 日本女子サッカーリーグ 事務局長
部会員	大立目佳久	(一財) 日本フットサル連盟 専務理事

委員会提出フォーマット

委員会名	財務委員会	
主管部署	財務部	
所管事項	(1) 毎年度予算案及び決算案の審議 (2) 資金運用、借入等資金計画に関する検討 (3) 長期財政計画の審議 (4) その他財務及び経理に関する重要事項の審議	
2年間で取り組む事項		
<p>従事している業務による専門知識・見識及びより広い観点から、予算策定における正当性・妥当性を審議する。同様に決算案についてもその正当性を審議する。特に公益財団法人としての立場から税務的観点・会計的観点・社会通念的観点を重視する。</p> <p>内部留保となっている特定預金の将来的あり方を中長期資金計画と併せて議論。特定預金保有継続の意味、その運用等についても検討、事務局へのアドバイスを行う。</p> <p>内閣府へ提出する定期提出書類の作成にあたり、専門的見地からのアドバイスを行う。特に特定費用準備資金、資産取得資金の計上に関して、上記の特定預金のあり方・中長期資金計画とも関連して、長期的視野にたった検討を行う。</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	岡島 正明	専務理事
委員	大南 博義	理事(東北)
委員	藤縄 信夫	理事(関西)
委員	木下 由美子	Jリーグ 理事
委員	松崎 英吾	(一社)日本障がい者サッカー連盟 理事
委員	手塚 貴子	女子委員会 副委員長
委員	池野 博章	(一財)全日本大学サッカー連盟 幹事長
委員	須永 功	税理士／永和総合事務所 代表者
委員	羽深 成樹	内閣府 政策統括官

委員会提出フォーマット

委員会名	技術委員会	
主管部署	技術部	
所管事項	(1) 日本を代表するチームの監督候補者の推挙 (2) 日本を代表するチームの編成案の作成 (3) 日本を代表するチームの強化 (4) その他日本を代表するチームに関する事項 (5) 選手の育成、強化に関する事項 (6) ユース年代の普及に関する事項 (7) 強化方針に基づく技術指導 (8) 指導者の養成 (9) 指導に関するビデオ、書籍等の認定、推薦 (10) その他技術指導に関する事項	
2 年間で取り組む事項		
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「代表強化」、「ユース育成」、「指導者養成」の三位一体の体制における現状分析と課題抽出 ➤ 課題克服に向けたアクションプランの策定・構築・実施・浸透 ➤ 現状分析他、四半期毎の PDCA サイクルでの事業運営 ➤ 各部会(強化部会、育成部会、指導者養成部会)の活動推進 ➤ 各種委員会との連携・協力 <p style="text-align: center;">*4/28 に技術委員会を開催、各部長より部会員体制を提案、協議の上、次回、2016 年度第 6 回理事会に 3 部会の体制、取組事項を付議予定</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	西野 朗	理事
副委員長	山本昌邦	アスクラロスガ(株)会長/国士舘大学体育学部客員教授
委員	林 義規	理事/競技会委員長/(公財)東京都サッカー協会副会長
委員	霜田正浩	JFA/ナショナルチームダイレクター
委員	須藤茂光	JFA/ ユース育成ダイレクター
委員	山口隆文	JFA/ 指導者養成ダイレクター
委員	影山雅永	JFA
委員	木村浩吉	JFA/ ユースナショナルチームダイレクター
委員	鈴木 満	(株)鹿島アントラーズ FC 常務取締役/強化部長
委員	中野雄二 ※	(一財)全日本大学サッカー連盟副理事長/ 流通経済大学サッカー部監督
委員	松永英機	Jリーグ育成ダイレクター

※第 5 回理事会(4 月 14 日)で承認されたが、現在、評議員であるため、評議員退任が承認された後、委員に選任される。

委員会提出フォーマット

委員会名	技術委員会 強化部会	
主管部署	代表チーム部	
所管事項	(1) 日本を代表するチームの監督候補者の推挙 (2) 日本を代表するチームの編成案の作成 (3) 日本を代表するチームの強化 (4) その他日本を代表するチームに関する事項	
2年間で取り組む事項		
> 2015日本代表強化指針の浸透とアクションプランの推進 > Jリーグ、大学連盟、高体連との協働体制強化 > SAMURAI BLUE はじめ各年代代表チームのワールドカップ出場、大会での上位進出に向けたサポート		
強化部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	<u>霜田 正浩</u>	<u>技術委員/ ナショナルチームダイレクター</u>
副部会長	<u>木村 浩吉</u>	<u>技術委員/ ユースナショナルチームダイレクター</u>
部会員	<u>鈴木 満</u>	<u>技術委員/(株)鹿島アントラーズ FC 常務取締役・強化部長</u>
部会員	<u>大平 正軌</u>	<u>(一財)全日本大学サッカー連盟技術副委員長/流通経済大学</u>
部会員	<u>梶居 勝志</u>	<u>Jクラブ/(株)ガンバ大阪強化部長</u>
部会員	<u>平岡 和徳</u>	<u>全国高等学校体育連盟/大津高校</u>
部会員	<u>松永 英機</u>	<u>Jリーグ育成ダイレクター</u>
部会員	<u>山口 素弘</u>	<u>元日本代表選手</u>

*地域性や取り組み事項を考慮しJリーグ及びJクラブより若干名を更に選任の予定

委員会提出フォーマット

委員会名	技術委員会 ユース育成部会	
主管部署	技術部	
所管事項	(1) 選手の育成、強化に関する事項 (2) ユース年代の普及に関する事項 (3) 強化方針に基づく技術指導 (4) 指導に関するビデオ、書籍等の認定、推薦 (5) その他技術指導に関する事項	
2年間で取り組む事項		
▶ 「代表強化」、「ユース育成」、「指導者養成」の三位一体の体制における現状分析と課題抽出 ▶ 課題克服に向けたアクションプランの策定・構築・実施・浸透 ▶ 現状分析他、四半期毎のPDCAサイクルでの事業運営 ▶ 各種委員会との連携・協力		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	須藤 茂光	技術委員/ ユース育成ダイレクター
副部会長	林 義規	理事/技術委員/暁星高校
部会員	鮑田 敏	ナショナルトレセンコーチ/ 長野県 FA
部会員	池内 豊	ユース育成サブダイレクター/ JFA
部会員	上間 政彦	有識者/奈良育英中学校・高等学校
部会員	大野 真	JFA ナショナルトレセンコーチ女子チーフ/ JFA
部会員	大橋 昭好	ユース育成サブダイレクター/ JFA
部会員	影山 雅永	技術委員/ JFA
部会員	木村 浩吉	技術委員/ ユースナショナルチームダイレクター
部会員	倉 直樹	関西 CY 連盟/神戸 FC
部会員	小池 直文	日本 CY 連盟技術委員/横浜 F・マリノス
部会員	小西 鉄平	フットサルテクニカルダイレクター/ JFA
部会員	高山 清	東京都 FA/府ロク SC
部会員	松永 英機	Jリーグ育成ダイレクター
部会員	皆川 新一	キッズプロジェクトリーダー/ フォルトウナ SC
部会長	山口 隆文	技術委員/ 指導者養成ダイレクター

委員会提出フォーマット

委員会名	技術委員会 指導者養成部会	
主管部署	技術部	
所管事項	(1) 強化方針に基づく技術指導 (2) 指導者の養成 (3) 指導に関するビデオ、書籍等の認定、推薦 (4) その他技術指導に関する事項	
2年間で取り組む事項		
▶ 「代表強化」、「ユース育成」、「指導者養成」の三位一体の体制における現状分析と課題抽出 ▶ 課題克服に向けたアクションプランの策定・構築・実施・浸透 ▶ 現状分析他、四半期毎のPDCAサイクルでの事業運営 ▶ 各種委員会との連携・協力		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	<u>山口 隆文</u>	<u>技術委員/指導者養成ダイレクター</u>
副部会長	<u>影山 雅永</u>	<u>技術委員/ JFA</u>
部会員	<u>池内 豊</u>	<u>ユース育成サブダイレクター/ JFA</u>
部会員	<u>大野 真</u>	<u>JFA ナショナルトレセンコーチ女子チーフ/ JFA</u>
部会員	<u>川俣 則幸</u>	<u>指導者養成サブダイレクター/ JFA</u>
部会員	<u>小西 鉄平</u>	<u>フットサルテクニカルダイレクター/ JFA</u>
部会員	<u>鈴木 淳</u>	<u>JFA インストラクター/ JFA</u>
部会員	<u>須藤 茂光</u>	<u>技術委員/ JFA</u>
部会員	<u>塚田 雄二</u>	<u>有識者/山梨学院大学サッカー部</u>
部会員	<u>中山 雅雄</u>	<u>指導者養成サブダイレクター/ 筑波大学</u>
部会員	<u>松田 浩</u>	<u>指導者養成サブダイレクター/ JFA</u>
部会員	<u>松永 英機</u>	<u>Jリーグ育成ダイレクター</u>
部会員	<u>皆川 新一</u>	<u>キッズプロジェクトリーダー/ フォルトウナ SC</u>
部会員	<u>望月 一頼</u>	<u>JFA インストラクター/ JFA</u>
部会員	<u>村松 浩</u>	<u>JFA インストラクター/浦和レッズ</u>
部会員	<u>安松 幹展</u>	<u>フィジカルフィットネスプロジェクト/立教大学</u>

委員会提出フォーマット

委員会名	女子委員会	
主管部署	女子部	
所管事項	女子サッカーの強化・育成・普及に関する事項	
2年間で取り組む事項		
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「なでしこビジョン」実現のための、具体的ロードマップの立案と実行開始。 ➤ 三位一体＋普及、リーグ、プロモーション、人材育成・活用等を深く関連づけさせ統合した発展を目指す。 ➤ 特に課題である普及に対し、コーディネーターを配置し取り組む。 		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	今井 純子	理事
副委員長	手塚 貴子	栃木県サッカー協会技術委員会女子副委員長/サッカー指導者
委員	綾部 美知枝	参与/女子大会部会長
委員	大野 真	ナショナルトレセンコーチ[女子担当]チーフ
委員	大部 由美	ナショナルトレセンコーチ[女子担当]サブチーフ
委員	小林 美由紀	ジェフユナイテッド市原千葉レディース/全日本大学女子サッカー連盟理事
委員	宮本 ともみ	元なでしこジャパン選手/サッカー指導者
委員	池内 豊	ユース育成サブダイレクター
委員	上田 栄治	理事
委員	<u>羽生 英之</u>	<u>日テレ・ベレーザ/Jリーグ女子部会長</u>
委員	<u>本田 美登里</u>	<u>AC長野パルセイロ・レディース監督</u>

委員会提出フォーマット

委員会名	審判委員会	
主管部署	審判部	
所管事項	(1) 競技規則の解釈、適用 (2) 審判員の養成 (3) 国際審判員に関する事項 (4) 公式競技のための審判員の派遣に関する事項 (5) 審判員の賞罰に関する事項 (6) 審判指導者に関する事項	
2年間で取り組む事項		
1. トップレフェリーを強化することで、Jリーグ担当審判員強化システムを更に充実し、ワールドカップレフェリー継続輩出に向け候補者育成プログラムの設定と実施 <ul style="list-style-type: none"> • FIFA大会で直接指導に関わるFIFAテクニカルインストラクターの輩出と、世界レベルの審判指導情報の収集と展開 2. JFAレフェリーアカデミー(JFA-地域-都道府県)の実施 <ul style="list-style-type: none"> • RDO(レフェリーデベロップメントオフィサー)を地域協会に配置し、1級審判員候補者への指導充実と、2～4級審判員へのサポート強化 • 審判指導者の位置づけの確立と、更なる活動機会の提供 3. 審判育成・強化における「JFA-地域-都道府県」における一貫した指導方針の確立 4. 評価システムの確立 <ul style="list-style-type: none"> • 審判員、審判指導者が、客観的かつ適切な評価を受けることで、自身の強みと弱み(改善点)の理解と、更なるレベルアップに向けた機会を提供 5. 競技規則の普及、発信 <ul style="list-style-type: none"> • サッカー、フットサル、ビーチサッカーに関わる関係者に、レベルに応じた競技規則の解釈と研修教材を提供 • 競技規則の精神の理解促進 		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	小川 佳実	理事/元国際審判員
副委員長	上川 徹	トップレフェリー部会長/S級審判インストラクター/元国際審判員
副委員長	石山 昇	レフェリーデベロップメント部会長/S級審判インストラクター/元国際審判員
委員	原 博実	常務理事/Jリーグ副理事長
委員	須原 清貴	理事
委員	今井 純子	理事/女子委員長
委員	小幡 真一郎	指導部会長/S級審判インストラクター/元国際審判員
委員	山口 隆文	技術委員
委員	大森 洋次郎	(一社)神奈川県サッカー協会専務理事
委員	大住 良之	ジャーナリスト

審判委員会 部会

部会名	審判委員会 トップレフェリー部会	
主管部署	審判部	
所管事項	1 級審判員の強化、ワールドカップレフェリーの輩出に向けた候補者の強化	
2 年間で取り組む事項		
トップレフェリーを強化することで、Jリーグ担当審判員強化システムを更に充実し、ワールドカップレフェリー継続輩出に向け候補者育成プログラムの設定と実施		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	上川 徹	審判副委員長/S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	小幡 真一郎	審判委員/S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	岡田 正義	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	廣嶋 禎数	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	柏原 丈二	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	山岸 貴司	日本体育協会認定アスレティックトレーナー

部会名	審判委員会 レフェリーデベロップメント部会	
主管部署	審判部	
所管事項	2 級・3 級・4 級審判員の普及・育成	
2 年間で取り組む事項		
JFA レフェリーアカデミー(JFA-地域-都道府県)の実施		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	石山 昇	審判副委員長/S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	黛 俊行	S 級審判インストラクター
部会員	太田 潔	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	山城 大	九州サッカー協会審判委員長/1 級審判インストラクター
部会員	高橋 武良	2 級審判インストラクター
部会員	山岸 貴司	(公財)日本体育協会認定アスレティックトレーナー

部会名	審判委員会 競技規則部会	
主管部署	審判部	
所管事項	競技規則の理解と解釈、普及、発信	
2 年間で取り組む事項		
競技規則の普及と理解の促進		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	須原 清貴	理事/審判委員

部会員	松崎 康弘	常務理事/S 級審判インストラクター/ フットサル 1 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	太田 潔	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	大住 良之	審判委員/ジャーナリスト
部会員	高橋 武良	2 級審判インストラクター

部会名	審判委員会 指導者部会	
主管部署	審判部	
所管事項	審判員指導者の育成・強化	
2 年間で取り組む事項		
審判員育成・強化における「JFA-地域-都道府県」における一貫した指導方針の確立		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	小幡 真一郎	審判委員/S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	柏原 丈二	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	石山 昇	審判副委員長/S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	黛 俊行	S 級審判インストラクター
部会員	柳澤 和也	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	山崎 裕彦	S 級審判インストラクター/元国際審判員
部会員	高橋 武良	2 級審判インストラクター

部会名	審判委員会 女子部会	
主管部署	審判部	
所管事項	女子審判員の普及・育成・強化	
2 年間で取り組む事項		
女子審判員の普及・育成・強化		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	小川 佳実	理事/審判委員長/元国際審判員
部会員	鮎貝 志保	S 級審判インストラクター/元女子国際審判員
部会員	山岸 佐知子	1 級審判インストラクター/元女子国際審判員
部会員	野原 敬司	1 級審判インストラクター
部会員	谷内 浩仁	S 級審判インストラクター
部会員	鈴木 亮哉	S 級審判インストラクター/フットサル 1 級審判インストラクター/ 元フットサル国際審判員

部会名	審判委員会 フットサル・ビーチサッカー部会	
主管部署	審判部	

所管事項	フットサル・ビーチサッカー審判員・指導者の普及・育成・強化	
2年間で取り組む事項		
フットサル・ビーチサッカー審判員・指導者の普及・育成・強化		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	小川 佳実	理事/審判委員長/元国際審判員
部会員	五十川 和也	フットサル1級審判インストラクター/元フットサル国際審判員
部会員	木村 剛	フットサル1級審判インストラクター
部会員	平野 伸一	1級審判インストラクター/フットサル1級審判インストラクター/ 元フットサル国際審判員
部会員	垣内 理伸	フットサル1級審判インストラクター
部会員	高橋 裕典	フットサル1級審判インストラクター

委員会提出フォーマット

委員会名	フットサル委員会
主管部署	競技運営部
所管事項	(1) フットサルに関する事項 (2) フットサルに関する大会及び試合の管理 (3) ビーチサッカーに関する事項 (4) ビーチサッカーに関する大会及び試合の管理
委員会の必要性	具体的に次の事柄について、有識者や関係者を中心とした委員会メンバーで様々な観点から検討し、方針、方向性を決定すると共に事務局と共に施行していくため。 (1) フットサル、ビーチサッカーの普及、発展。 (2) サッカーへの寄与(JFA 登録メンバー増、技術、審判技術への貢献を含む) (3) フットサル、ビーチサッカー代表チームの強化、また、その活躍の波及効果の利用促進
2年間で取り組む事項	
<p>1. 強いフットサル代表の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フットサル技術部会の設置 ・ Fリーグの強化 ・ サッカーからフットサル、ビーチサッカー転向の促進 ・ 大学フットサルの強化 ・ 国際大会の開催及び海外との交流促進 ・ AFC U21 フットサル選手権大会を見据えた強化策の実施 ・ 女子フットサル選手の育成/強化 <p>2. 広がり(社会から求められるフットサルの構築のために)</p> <p>① JFA メンバー増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フットサルエンジョイ登録の推進、ビーチサッカーの普及発展(ビーチサッカーの組織化を含む) <p>② フットサルエンジョイ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他エンジョイ大会の新設、他大会の取り込み ・ 民間施設の公認化 <p>③ 社会スポーツ化へ(フットサル、ビーチサッカーの大衆化、生涯スポーツ化)</p> <p>④ フットサル、ビーチサッカーの更なる認知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Fリーグ等見るスポーツとしての質の向上 ・ メディアプロモーションの強化(広く、強い情報発信) ・ ビーチサッカーを夏のスポーツから通年スポーツ、また9地域でプレーされるスポーツとする <p>⑤ 財源確保、拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フットサル、ビーチサッカーのための財源確保、拡大 <p>⑥ 屋内、ビーチ最高峰のスポーツとなるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館等屋内施設のフットサルへの開放、ビーチの解放、常設ビーチサッカー場の設置推進 ・ U18 フットサル大会の成功、ビーチサッカーの年間リーグ化 ・ フットサル指導者制度の確立、ビーチサッカークリニックの実施 ・ 審判員、審判指導者制度の充実(ビーチサッカー審判クリニックの実施) <p>3. サッカーへの寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッカー技術研修カリキュラムへの導入 ・ 冬場、荒天時の練習。砂場でのフィジカルトレーニング等のためのプレー促進 ・ サッカー選手のためのフットサル、ビーチサッカークリニックの実施 ・ フットサルエンジョイ登録を通じたサッカーの楽しさの拡販 	

委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	北澤 豪	理事/日本フットサルリーグ COO 補佐
副委員長	大立目 佳久	(一財)日本フットサル連盟専務理事/9 地域選出
副委員長	小西 鉄平	JFA フットサルテクニカルダイレクター
委員	五十川 和也	審判委員会 フットサル・ビーチサッカー部会員
委員	今井 純子	女子委員長
委員	金子 諭	有識者/日本フットサル施設連盟事務局長
委員	北原 亘	元フットサル日本代表選手
委員	柴沼 真	大阪成蹊大学/指導者インストラクター
委員	西脇 一行	(一財)日本ビーチサッカー連盟専務理事
委員	野仲 賢勝	(株)電通
委員	山本 敏彦	Fリーグ ペスカドーラ町田 実行委員

委員会提出フォーマット

委員会名	フットサル委員会 フットサル・ビーチ部会
所管事項	(1) フットサル委員会での決定事項の実行 (2) フットサルに関する大会及び試合の管理 (3) ビーチサッカーに関する大会及び試合の管理
委員会の必要性	具体的に次の事柄について、フットサル委員会で検討・決定された事項を事務局と共に実行・施行していくため。 (1) フットサル、ビーチサッカーの普及、発展。 (2) サッカーへの寄与(JFA 登録メンバー増、技術、審判技術への貢献を含む) (3) フットサル、ビーチサッカー代表チームの強化、また、その活躍の波及効果の利用促進
2年間で取り組む事項	
フットサル	
1) 全日本フットサル	① 参加チーム数の増加促進(目標 1500 チーム) ② 大会の魅力度アップと集客数の増加 ③ 大会形式の検証と変更(必要な場合) ④ Fリーグとの連携による大会の価値向上
2) 大学フットサル	① 参加チーム数増加促進(200 チーム)
3) ユース U-18 フットサル	① 参加チーム数増加促進(500 チーム) ② 3種⇒2種への移行時の登録離れの最小化施策の検討・推進 ③ 高校サッカー一部の参加促進 ④ 大会形式の検証と変更(必要な場合)
4) ユース(U15)フットサル	① 4種⇒3種への移行時の登録離れの最小化施策の検討・推進 ② 中学サッカー一部の参加促進
5) 少年フットサル	① 夏開催による影響についての検証と修正 ② 夏開催による参加チーム減少の最小化施策の検討・推進
7) 全日本女子フットサル	① 参加チーム数の増加促進(400 チーム) ② サッカーチームからの参加促進
6) 女子ユース(U15)フットサル	① 参加チーム数の増加促進(200 チーム) ② 中学女子サッカー一部からの参加促進
ビーチサッカー	
1) 全国ビーチサッカー大会	① 普及・認知度拡大に向けた施策の実施 ② 参加チーム数の増加促進(120 チーム)
2) 日本ビーチサッカー連盟	① 維持・継続のサポート ② 普及活動に取り組む組織づくり ③ 2018年までに本協会加盟登録団体化 ④ 北海道・東北・四国の地域連盟促進
3) その他	① ビーチバレー大会と並行した競技会の開催

委員会メンバー		
役職	氏名	備考
<u>部会長</u>	<u>大立目 佳久</u>	<u>(一財)日本フットサル連盟専務理事/東海地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>溝口 昇</u>	<u>北海道地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>夏井 浩</u>	<u>東北地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>竹中 洋</u>	<u>関東地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>森 恭</u>	<u>北信越地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>大谷 浩志</u>	<u>関西地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>川野 貴志</u>	<u>中国地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>津田 紀行</u>	<u>四国地域選出</u>
<u>部会員</u>	<u>森岡 勉</u>	<u>九州地域選出</u>

委員会提出フォーマット

委員会名	フットサル委員会 フットサル・ビーチ部会
主管部署	競技運営部
所管事項	(1) フットサル委員会での決定事項の実行 (2) フットサルに関する大会及び試合の管理 (3) ビーチサッカーに関する大会及び試合の管理
委員会の必要性	具体的に次の事柄について、フットサル委員会で検討・決定された事項を事務局と共に実行・施行していくため。 (1) フットサル、ビーチサッカーの普及、発展。 (2) サッカーへの寄与(JFA 登録メンバー増、技術、審判技術への貢献を含む) (3) フットサル、ビーチサッカー代表チームの強化、また、その活躍の波及効果の利用促進
2年間で取り組む事項	
フットサル	
1) 全日本フットサル	① 参加チーム数の増加促進(目標 1500 チーム) ② 大会の魅力度アップと集客数の増加 ③ 大会形式の検証と変更(必要な場合) ④ Fリーグとの連携による大会の価値向上
2) 大学フットサル	① 参加チーム数増加促進(200 チーム)
3) ユース U-18 フットサル	① 参加チーム数増加促進(500 チーム) ② 3種⇒2種への移行時の登録離れの最小化施策の検討・推進 ③ 高校サッカー部の参加促進 ④ 大会形式の検証と変更(必要な場合)
4) ユース(U15)フットサル	① 4種⇒3種への移行時の登録離れの最小化施策の検討・推進 ② 中学サッカー部の参加促進
5) 少年フットサル	① 夏開催による影響についての検証と修正 ② 夏開催による参加チーム減少の最小化施策の検討・推進
7) 全日本女子フットサル	① 参加チーム数の増加促進(400 チーム) ② サッカーチームからの参加促進
6) 女子ユース(U15)フットサル	① 参加チーム数の増加促進(200 チーム) ② 中学女子サッカー部からの参加促進
ビーチサッカー	
1) 全国ビーチサッカー大会	① 普及・認知度拡大に向けた施策の実施 ② 参加チーム数の増加促進(120 チーム)
2) 日本ビーチサッカー連盟	① 維持・継続のサポート ② 普及活動に取り組む組織づくり ③ 2018年までに本協会加盟登録団体化 ④ 北海道・東北・四国の地域連盟促進
3) その他	① ビーチバレー大会と並行した競技会の開催

委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	<u>大立目 佳久</u>	<u>(一財)日本フットサル連盟専務理事/東海地域選出</u>
部会員	<u>溝口 昇</u>	<u>北海道地域選出</u>
部会員	<u>夏井 浩</u>	<u>東北地域選出</u>
部会員	<u>竹中 洋</u>	<u>関東地域選出</u>
部会員	<u>森 恭</u>	<u>北信越地域選出</u>
部会員	<u>大谷 浩志</u>	<u>関西地域選出</u>
部会員	<u>川野 貴志</u>	<u>中国地域選出</u>
部会員	<u>津田 紀行</u>	<u>四国地域選出</u>
部会員	<u>森岡 勉</u>	<u>九州地域選出</u>

委員会提出フォーマット

委員会名	フットサル委員会 技術部会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	(1) 日本代表強化に関わる事項 (2) 日本代表監督の選考、評価に関わる事項 (3) 育成強化指針に関わる事項 (4) 指導者養成指針に関わる事項	
委員会の必要性	具体的に次の事柄について、フットサル委員会で検討・決定された事項を事務局と共に実行・施行していくため。 (1) 日本代表強化施策の作成と実行 (2) 日本代表監督の決定と評価 (3) 育成強化指針の作成と実行 (4) 指導者養成指針の作成と実行	
2年間で取り組む事項		
(1) 日本代表強化に関わる事項 / (2) 日本代表監督の選考、評価に関わる事項 ・強化体制の構築(代表強化責任者の新設、一貫代表強化指針の作成と展開、代表強化プランの作成と実行) ・Fリーグとの連携(選手の情報共有と管理、カレンダー調整、強化責任者の新設) ・U-23 日本代表チームの新設 (3) 育成強化指針に関わる事項 ・試合環境の整備(各年代のフットサルリーグ戦の普及) ・トレセンの整備(9 地域、ナショナルトレセンの新設) ・選手情報の共有(情報収集及び蓄積) (4) 指導者養成指針に関わる事項 ・世界レベルの指導者の養成(A 級、S 級ライセンスの新設) ・サッカーとフットサルの双方を指導できる指導者の養成(サッカーC 級+フットサル C 級合同コースの増設) ・専門分野に特化した指導者の養成(GK、フィットネスライセンスの新設) ・代表強化指針に基づく育成年代指導指針の作成(国内・国外大会への TSG の積極的派遣)		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	小西 鉄平	JFA フットサルテクニカルダイレクター
部会員	櫻井 嘉人	名古屋オーシャンズ
部会員	小森 隆弘	U-18 フットサル日本代表監督/前フットサル日本代表コーチ
部会員	在原 正明	前フットサル日本女子代表監督/JFA フットサルインストラクター

委員会提出フォーマット

委員会名	医学委員会	
主管部署	技術部	
所管事項	(1) 選手の健康管理、傷害予防及び救急処置に関する事項 (2) アンチ・ドーピングに関する事項 (3) 日本を代表するチームの医事管理に関する事項 (4) 指導者等に対する上記すべての教育及び普及に関する事項 (5) 本協会主催の試合及び大会における医事管理に関する事項 (6) その他すべての医学及び健康に関する事項	
2年間で取り組む事項		
1) 救命救急処置の教育を、グラスルーツに関わる指導者、レフェリー、チームスタッフなどへ展開する。 2) 救命救急処置に関わる BLS(Basic Life Support)講習会を、JFA 医学委員会で主催できるための組織作りをする。 3) 脳振盪ガイドラインが適切に運用されるかを検証する。 4) 脳振盪ガイドラインの対象試合(日本代表、Jリーグのみ)を、他のリーグへと徐々に拡大する。 5) 熱中症ガイドラインが適切に運用されるかを検証する。 6) FIFA および AFC の医学委員会との連携のもと、突然死や外傷・障害を予防するための基礎データを集積する。 7) 医学委員会の中にリサーチ専門の部会を作って、サッカー医学に関する学会発表や論文作成を推進する。 8) アンチ・ドーピングの教育及び普及によって、国内競技会でのドーピングフリーを継続させる。		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	池田 浩	理事/順天堂大学 医学部整形外科
委員	大塚 一寛	Jリーグチームドクター部会長/FC 東京/上尾中央総合病院 整形外科
委員	加藤 晴康	立教大学 コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科
委員	島田 和典	順天堂大学 医学部循環器内科
委員	立石 智彦	同愛記念病院 整形外科
委員	谷 諭	東京慈恵会医科大学 脳神経外科
委員	土肥 美智子	アンチ・ドーピング部会長/国立スポーツ科学センター メディカルセンター
委員	前田 弘	JFA
委員	宮川 俊平	筑波大学 体育科学系
委員	森川 嗣夫	千葉メディカルセンター 整形外科

委員会提出フォーマット

委員会／部会名	医学委員会 アンチ・ドーピング部会	
主管部署	技術部	
所管事項	(1) アンチ・ドーピングに関する事項	
2年間で取り組む事項		
<p>1) 世界アンチ・ドーピング禁止表やアンチ・ドーピングの正しい知識を選手、指導者、選手支援者へ提供し、ドーピング違反と選手の健康被害を回避する。</p> <p>2) 世界大会に直結するすべてのリーグでのドーピング検査の計画とアンチ・ドーピング活動を行い、日本サッカーがドーピングからクリーンであることを示す。</p> <p>3) 指導者養成講習会、リーグ新人研修会、Jリーグチームドクター会等講習会やホームページを利用してドーピングに関する情報を提供する。</p> <p>4) NR Representative の育成などアンチ・ドーピング活動に係る体制の整備を行う。</p> <p>5) FIFA、AFC、JADA と協力連携し、ドーピングに関する情報の迅速な収集と適切な対応を行う。</p> <p>6) JISSで行っているドーピング検査の研究に協力し、選手への身体的・精神的負担の少ないドーピング検査の確立を目指す。</p>		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	土肥 美智子	医学委員/国立スポーツ科学センター メディカルセンター
部会員	上東 悦子	国立スポーツ科学センター メディカルセンター
部会員	東澤 知輝	近畿大学医学部堺病院 緩和ケア科
部会員	樋渡 正夫	東北福祉大学 健康科学部
部会員	松田 貴雄	西別府病院 スポーツ医学センター
部会員	矢倉 幸久	富良野病院 整形外科

委員会提出フォーマット

委員会／部会名	医学委員会 Jリーグチームドクター部会	
主管部署	技術部	
所管事項	(1) 選手の健康管理、傷害予防及び救命救急処置に関する事項 (2) トレーナーに対する上記1)の教育及び普及に関する事項 (3) Jリーグ主催の試合及び大会における医事管理に関する事項 (4) Jリーグチームドクター会の開催に関する事項	
2年間で取り組む事項		
1) JFA医学委員会との共有を図り次の項目について取り組む。 2) メディカルチェックの徹底及び救命救急処置の普及によって、重大事故(死亡事故)を撲滅させる。 3) アンチ・ドーピングの啓発、普及。 4) Jリーグチームドクター会の安定した開催、情報共有。		
部会メンバー		
役職	氏名	備考
部会長	大塚 一寛	医学委員/FC 東京/上尾中央総合病院 整形外科
部会員	小松 猛	セレッソ大阪/びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部スポーツ学科
部会員	鈴江 直人	徳島ヴォルティス/徳島大学病院 整形外科
部会員	瀬戸 宏明	ヴァンフォーレ甲府/多摩南部地域病院 整形外科
部会員	山口 徹	柏レイソル/八王子スポーツ整形外科

委員会提出フォーマット

委員会名	法務委員会	
主管部署	管理部	
所管事項	(1) 各種規程・規則の草案 (2) 各種法務関連政策に関する事項 (3) サッカー界における法秩序の維持 (4) 選手の資格に関する事項	
2年間で取り組む事項		
◎JFA リフォームに関連した各種規程の変更 ◎JFA リフォームの修正の要否に関する検討 ◎FIFA/AFC の規程変更(リフォーム)への対応 ・仲介人制度の現状確認・制度変更の必要性についての検討 ・司法の独立/二審制の導入を受けた制度・規程上の課題の整理 ・プロ選手規程の各種見直し(移籍に関するルール等) ・指導者/審判の資格の停止/剥奪等に関する件 ・未成年選手の国際移籍に関する件 ・JFA の懲罰権に関する検討 ・その他各種法務関連政策に関する事項		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	三好 豊	理事/弁護士
委員	池上 三六	原子力損害賠償・廃炉等支援機構
委員	松井 秀征	立教大学法学部教授
委員	伊東 卓	弁護士
委員	木下 由美子	Jリーグ理事

委員会提出フォーマット

委員会名	施設委員会	
主管部署	47 都道府県/9 地域 FA 担当部	
所管事項	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会の施設関係の指導 ・施設及び用具に関する規定基準の研究指導 ・施設に関する情報の収集 ・施設の増加、改善対策 ・ナショナルトレーニングセンター(NTC)に関する事項 	
2 年間で取り組む事項		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設整備推進のロードマップの策定 2. グラスルーツの施設整備推進 3. フットボールスタジアム・アリーナの整備推進 4. 校庭・園庭の芝生化推進(社会貢献) 5. 施設面におけるバリアフリーの推進 6. その他、NTC 等のあり方の検討 		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	岡島 正明	専務理事
委員	松崎 康弘	常務理事
委員	今井 純子	理事/女子委員長
委員	大南 博義	理事/(一社)東北サッカー協会専務理事
委員	真壁 潔	理事/J1 クラブ
委員	牛久保 勇	(一財)全国社会人サッカー連盟会長
委員	富樫 正義	(公財)日本ケアフィット共育機構 事務局長
委員	佐藤 仁司	Jリーグ フットボール統括本部 マネージャー
委員	傍士 銚太	日本政策投資銀行
委員	石川 慎之助	NPO 法人つくばフットボールクラブ理事長
委員	杉山 秀幸	静岡県立富士高校サッカー部顧問/NPO 法人富士スポーツクラブ 理事長
委員	岡嶋 直道	(一財)全日本大学サッカー連盟 幹事
委員	池田 省治	(株)オフィス・ショウ
委員	佐野 忍	(有)グリーンマスターズ清水
委員	種田 哲智	(一財)カケンテストセンター

委員会提出フォーマット

委員会名	リスペクト・フェアプレー委員会	
主管部署	管理部	
所管事項	リスペクトに関する事項 フェアプレーに関する事項 差別、暴力対策に関する事項	
2年間で取り組む事項		
(1)リスペクトに関する事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・周知、理解推進活動(シンポジウム開催、ワークショップ開催、代表戦/各リーグでの主将による宣言等) ・リスペクトアワードの企画、実施 ・リスペクト F.C.JAPAN の運営 		
(2)フェアプレーに関する事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・フェアプレー賞設置の推進。 ・新フェアプレー賞選定基準導入推進(評価の平準化、導入大会プロモーション) ・グリーンカードの推進 		
(3)差別、暴力対策に関する事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルウェアオフィサー(WO)活動の活発化援助、マッチWO、クラブWOの設置推進 ・差別、暴力対策事案事収集と分析、各国の調査研究 ・広報、啓発活動(シンポジウム開催、代表戦/各リーグでの啓発活動等) ・マニュアル整備(教育/リスクマネジメント/有事対応 各種マニュアルの作成) ・諸規程、規則の新設と見直し(指導者規程/倫理、コンプライアンス規程の制定) ・窓口体制の整備 		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	松崎 康弘	常務理事/天皇杯実施委員長
委員	小川 佳実	理事/審判委員長
委員	竹山 勝自	理事(東海)
委員	山口 香	理事
委員	今井 純子	理事/女子委員長
委員	山口 隆文	技術委員
委員	浅井 慎也	(公財)日本体育協会
委員	大住 良之	ジャーナリスト
委員	岸川 剛之	(公財)日本ラグビーフットボール協会 審判委員会委員長
委員	葭原 滋男	元ブラインドサッカー日本代表
委員	萩原 和之	Jリーグ広報部長

委員会提出フォーマット

委員会名	殿堂委員会	
主管部署	コミュニケーション部	
所管事項	(1)日本サッカー殿堂に関する事項	
2年間で取り組む事項		
2016年「第13回日本サッカー殿堂」掲額候補者の選定、推薦および式典開催 2017年「第14回日本サッカー殿堂」掲額候補者の選定、推薦および式典開催 今後の「日本サッカー殿堂」掲額候補者の選定における基準設定		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	大仁 邦彌	名誉会長
委員	岡島 正明	専務理事
委員	綾部美知枝	参与
委員	大住 良之	ジャーナリスト
委員	鬼武 健二	前顧問
委員	国吉 好弘	ジャーナリスト
委員	佐藤 仁司	Jリーグ フットボール統括本部 マネージャー
委員	武智 幸徳	(株)日本経済新聞社 編集委員

委員会提出フォーマット

委員会名	監査・コンプライアンス委員会	
主管部署	管理部	
所管事項	(1) 監査に関する事項 (2) コンプライアンス等に関する事項	
2年間で取り組む事項		
<p>(1) 法人法における監事業務の実施およびその協力 (2) 監査計画の立案、実施、結果確認 (3) 国税調査、内閣府調査の検査結果確認、指摘状況への対応確認 (4) コンプライアンス等の方針および遵守状況の確認</p> <p>事務局に設置する「コンプライアンス推進チーム」(仮称)と連携を行い、上記の委員会業務に加え、事務局が行う以下の業務について監査・レビュー・アドバイザー業務を行う。</p> <p>① 監査体制の検証、改善 ② 組織方針の策定、未整備規程の立案 ③ コンプライアンス教育の実施 ④ リスクマネジメント体制の強化</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	原 秋彦	監事/日比谷パーク法律事務所パートナー弁護士
副委員長	岩城 健	監事/岩城税理士事務所/税理士
委員	福田 雅	監事/みずほ証券株式会社/公認会計士

委員会提出フォーマット

委員会名	社会貢献委員会	
主管部署	管理部	
所管事項	(1) 社会貢献に関する事項	
2年間で取り組む事項		
<p>(1) 社会貢献活動に関する総括業務 (2) 社会貢献活動の定義及び具体的な活動の検討 (3) 社会貢献活動に関する方針、基準、規程類の策定 (4) 社会課題解決に貢献する組織間、部署間連携の推進 (5) 社会情勢変化に対応する新規事業の研究ならびに既存事業の改廃、統合などの検討 (6) 情報公開、広報強化に関する検討</p> <p>JFA の理念、JFA のビジョンに規定のとおり、スポーツ文化の創造、心身の健全な発達と社会の発展への貢献、スポーツをより身近にすること、フェアプレーの精神の普及、国内外の友好、親善を行うこと等について活動を検討し、「社会的課題」や「社会的問題の解決」に貢献を行う。</p> <p>上記実現のため、これまで各部署にて個別に活動していた内容の共有や活動の定義自体から行い、「社会的課題」や「社会的問題の解決」に向けた既存活動の連携、見直し、新規事業検討を行う。</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	日比野 克彦	参与
委員	村松 邦子	Jリーグ理事/(株)ウェルネス・システム研究所 代表取締役所長

委員会提出フォーマット

委員会名	JFA/Jリーグ将来構想委員会	
主管部署	管理部	
所管事項	日本代表強化およびJFA・Jリーグ発展のための施策に関する事項	
2年間で取り組む事項		
1. シーズン制移行の検討 2. 適正カレンダーの策定 3. 各カテゴリーにおける理想的なスケジュールの検討 4. 日本サッカー全体に関わる事項		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	田嶋 幸三	会長
副委員長	村井 満	副会長/Jリーグチェアマン
副委員長	岡田 武史	副会長
委員	原 博実	常務理事/Jリーグ副理事長
委員	岡島 正明	専務理事
委員	西野 朗	理事/技術委員長
委員	植田 昌利	常務理事
委員	松崎 康弘	常務理事
委員	中西 大介	Jリーグ常務理事
委員	木下 由美子	Jリーグ理事
委員	加藤 桂三	(一社)日本フットボールリーグ専務理事
委員	牛久保 勇	(一財)全国社会人サッカー連盟会長
委員	中野 雄二	(一財)全日本大学サッカー連盟副理事長
委員	真壁 潔	(株)湘南ベルマーレ代表取締役会長/J1クラブ
委員	淵田 敬三	浦和レッドダイヤモンズ(株)代表取締役社長/J1クラブ
委員	鈴木 秀樹	(株)鹿島アントラーズFC取締役/J1クラブ
委員	久米 一正	(株)名古屋グランパスエイト代表取締役/J1クラブ
委員	木村 正明	(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役/J2クラブ
委員	岩瀬 浩介	(株)ブラウブリッツ秋田取締役社長/J3クラブ
委員	高野 純一	(一社)日本プロサッカー選手会事務局長
委員	林 義規	NPO 法人日本サッカー指導者協会副理事長

委員会提出フォーマット

委員会名	復興支援委員会	
主管部署	47 都道府県/9 地域 FA 担当部	
所管事項	2011 年東日本大震災による被災地の復興支援活動に関する事項	
2 年間で取り組む事項		
<p>1. 被災地の現状把握と被災者のニーズの見極め</p> <p>2. 復興支援活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災沿岸地域登録チーム活動支援(交通費補助) ・サッカー施設整備 ・JFA 復興支援フェスティバルの実施 ・ナショナルトレセンコーチによるトレセン支援等 ・J ヴィレッジ対応 ・その他復興支援活動(関係団体等の復興支援活動の調整を含む) 		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	上田 栄治	理事
委員	手倉森 浩	ナショナルトレセンコーチ(東北チーフ)
委員	山口 隆文	技術委員
委員	大南 博義	理事/(一社)東北サッカー協会専務理事
委員	佐藤 訓文	(公社)岩手県サッカー協会専務理事
委員	菅原 英俊	(一社)宮城県サッカー協会専務理事
委員	橋本 善一郎	(一財)福島県サッカー協会専務理事
<u>委員</u>	<u>北岡 長生</u>	<u>(一社)熊本県サッカー協会専務理事</u>

委員会提出フォーマット

委員会名	天皇杯実施委員会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	天皇杯全日本サッカー選手権大会	
2年間で取り組む事項		
<p>1)2017年4月開幕に向けての円滑な運営のための検証および対応策の構築</p> <p>① 都道府県FAへの丁寧なヒアリング</p> <p>② 平日開催に対するヒアリング</p> <p>③ 具体的な対応策の構築と関係方針説明</p> <p>2)2018年に向けての日程作成</p> <p>将来構想委員会の方針に基づいた年間カレンダーの整備</p> <p>3)観客数増加及び大会運営の品質向上</p> <p>① 都道府県大会の堅実な開催</p> <p>② 都道府県代表が出場する試合のプロモーション及び集客対策</p> <p>③ Jクラブが出場する試合のJクラブへの告知協力及び運営の協働検討</p> <p>④ Jクラブの事例を参考とした来場者サービスの導入</p> <p>⑤ 賞金の再検討</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	松崎 康弘	常務理事
副委員長	原 博実	常務理事/Jリーグ副理事長
委員	植田 昌利	常務理事/第1種大会部会長/国体実施委員長
委員	三好 健寿	北海道地域選出
委員	鈴木 秀夫	東北地域選出
委員	中西 聡太	関東地域選出
委員	広部 雅之	北信越地域選出
委員	福富 孝芳	東海地域選出
委員	藤縄 信夫	理事/関西地域選出
委員	榊田 憲二	中国地域選出
委員	豊田 栄二	四国地域選出
委員	堤 恒範	九州地域選出
委員	品川 和彦	NHK 視聴者総局 事業センター 副部長
委員	竹本 哲也	NHK 報道局 スポーツセンター
委員	藤田 武徳	共同通信社
委員	土屋 出	共同通信社
委員	牛久保 勇	(一財)全国社会人サッカー連盟会長
委員	窪田 慎二	Jリーグ フットボール本部長
委員	加藤 桂三	(一社)日本フットボールリーグ専務理事
委員	中野 雄二	(一財)全日本大学サッカー連盟副理事長

委員会提出フォーマット

委員会名	国体実施委員会	
主管部署	競技運営部	
所管事項	サッカー競技に係る競技運営事項 公益財団法人日本体育協会との交渉 開催自治体及び主管サッカー協会との交渉	
委員会の必要性	広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的に競技会を実施する。	
2年間で取り組む事項		
<p>(1) 第77回国民体育大会(栃木県)、第78回国民体躯大会(佐賀県)開催自治体の確定</p> <p>(2) 第71回国民体育大会(岩手県)及び第72回国民体育大会(愛媛県)の競技会開催</p> <p>(3) 少年種別年齢区分の見直しについて</p>		
委員会メンバー		
役職	氏名	備考
委員長	植田 昌利	常務理事
副委員長	藤縄 信夫	理事(関西)
委員	林 義規	理事/競技会委員長
委員	小川 佳実	理事/審判委員会長
委員	竹山 勝自	理事(東海)/第3種部会長
<u>委員</u>	<u>西野 朗</u>	<u>技術委員長</u>
<u>委員</u>	<u>大野 真</u>	<u>NTC[女子]チーフ/女子委員会</u>
委員	片岡 道夫	(一財)全国社会人サッカー連盟
委員	佐藤 訓文	(公社)岩手県サッカー協会 専務理事/2016年開催
委員	兵頭 龍哉	(一社)愛媛県サッカー協会 専務理事/2017年開催
委員	廣部 雅之	(一社)福井県サッカー協会 理事/2018年開催
委員	大和田 健	(公財)茨城県サッカー協会 専務理事/2019年開催